

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループ企業理念

自然の恵みを活かし、バイオ技術をベースに、人々に食の楽しさと健やかな暮らしを提供する

連結売上高
930億円連結経常利益
45億円売上高経常利益率
4.8%ROE
10.0%

② 中長期の経営戦略

1. 中核事業の競争力強化

顧客起点のマーケティングに基づき付加価値の高い商品を投入し、選択と集中及びコスト低減を進める

3. 焼酎メーカーのプレゼンス強化

多様な消費者嗜好に対応した高付加価値商品開発と既存商品の育成、コスト構造見直しを進める

2. 新領域への挑戦

新たな商品、分野、海外市場へ挑戦し新たな収益の柱を創出する

4. 酒類輸出の販路拡大

既存輸出先の市場深耕と新規市場開拓。アメリカはジャパニーズウイスキー、ヨーロッパはジンに注力

③ 対処すべき課題

① 国内酒類市場の縮小対策

- ・ 少子高齢化、消費者低価格志向、ライフスタイル変化への対応
- ・ 企業間販売競争激化への競争力強化

② 品質・コスト管理の徹底

- ・ 衛生管理と5S定着化、3H4Mによる危険予知継続
- ・ 工程内不適合撲滅と品質安定化・向上
- ・ 営業・生産部門におけるコスト低減推進

③ ESG経営とリスク対応

- ・ 低炭素社会実現と循環型社会形成への取組み継続
- ・ 従業員の働きがい向上と多様な人材活躍環境の整備
- ・ コンプライアンス徹底と情報セキュリティ強化

面接で使えるポイント

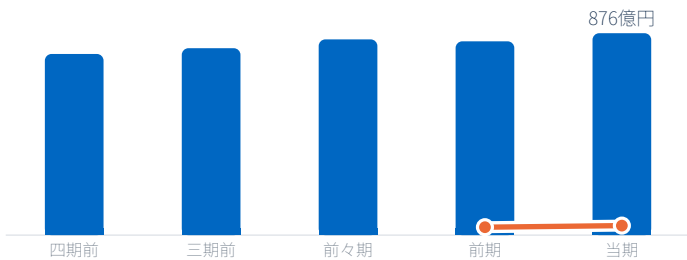
- ・ 令和7年度酒類輸出が過去最大額を更新し、中国が最大輸出先となった成長機会を活かした事業展開に関心あり
- ・ 2028年度に連結売上高930億円、ROE10%を目指す中期経営計画に基づいた戦略的な成長の方向性を理解したい
- ・ バイオテクノロジーと発酵技術を核とした酵素事業拡大や新領域挑戦による将来の収益柱創出への関わり方に興味

オエノンホールディングス株式会社

食料品 | プライム（内国株式） | 決算期 12月31日 | 連結…

証券コード 2533

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
876億円

営業利益率
4.7%

財務健康度
44点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 56.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
757万円
食料品内 39位/120社

平均年齢
46.0歳
食料品内 7位/121社

平均勤続
20.0年
食料品内 2位/121社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: オエノンHD

オエノンホールディングス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

